

平成28年度事業報告

本格的な人口減少社会の到来や世帯規模の縮小、単身世帯の増加等の社会構造の変化を背景に、家族や地域の支え合い機能が低下する中、複雑化・多様化する福祉ニーズや社会的孤立、虐待、経済的困窮、貧困の世代間連鎖など従来の福祉制度の枠組みだけでは捉えきれない課題への対応が求められています。

とりわけ、全国を上回るスピードで少子高齢化・人口減少が進行している本県においては、住民自ら地域の福祉課題を発見し、解決につなげることができる地域コミュニティの形成が求められており、活発な住民活動の推進や、これらの課題に福祉施設・団体、関係機関、専門職、住民、行政等が協働して解決に取り組むためのシステムづくりが重要な課題となっています。

こうした情勢の中、本会としては、第三次活動推進計画に基づき、以下の5つを事業推進の柱として位置付け、住民主体の地域福祉推進や福祉サービスの質の向上、福祉を担う人材の確保・育成等を図るため、ケアネット活動等の小地域福祉活動やボランティア活動の推進、日常生活自立支援事業、福祉人材確保対策事業など、地域福祉の視点から民生委員・児童委員等社会福祉事業関係者はもとより、保健、医療、教育等関連分野との連携・協働を図りながら事業を実施しました。

【事業推進の柱】

第1 地域協働による地域福祉の推進

第2 多様な機関との連携・協働による福祉教育の推進とボランティア・市民活動への支援

第3 福祉サービスの利用者と提供者への支援

第4 福祉の担い手確保と資質向上

第5 県社協の活動基盤の強化

本会が実施した主な取り組みは、次のとおりです。

- (1) 地域総合福祉推進事業（ふれあいコミュニティ・ケアネット21）を実施し、「地域見守り相談支援システム」を整備、住民主体による地域福祉推進に取り組む市町村社協への支援や基盤強化に努めるとともに、生活困窮世帯等への総合支援資金、教育支援資金、臨時特例つなぎ資金等各種生活福祉資金の貸付や相談体制の強化を図りました。
- (2) 地域包括ケアシステム推進に向けた地域包括支援センターや行政との協働学習会の開催や福祉専門職団体の連携強化を図るための研修会等の開催により地域における福祉課題や情報の共有化を図りました。
- (3) 生活困窮者自立支援法に基づく各種事業の受託による「富山県東部生活自立支援センター」の設置運営・自立相談支援等を実施するとともに、市町村社協職員を対象とした課題検討会や司法との福祉連携のための学習会等を開催しました。
- (4) 小地域で学校や地域住民、様々な関係機関・団体等が連携して福祉教育を推進していくための「福祉教育サポーター養成モデル事業」を実施しました。
- (5) 市町村社協が主体となり「社会福祉法人連絡会（地域協議会）」等を設置して、社協と社会福祉法人・施設が地域の福祉課題を共有し、制度の狭間にある課題解決に向けた協働の取り組みを進めていくために「社会福祉法人地域公益活動推進事業」を実施しました。
- (6) 福祉人材の確保・定着を図るため、新任介護職員のネットワーク形成を目指した合同入職式の実施や中堅介護職員を応援するための表彰、イメージアップ・テレビCMの作成等を行いました。

第1 地域協働による地域福祉の推進

誰もが住みたいと思うそれぞれの地域において、必要な支援を受け社会とのつながりを持ちながら安心して暮らすことができるよう、これまで築いてきた地区社協等による小地域福祉活動や、ケアネット活動等を基盤に住民、福祉関係団体・関係機関、NPO法人や企業等、多種多様な主体との連携・協働のもと、地域における包括的なケアシステムの構築に努めるとともに、生活支援の視点と、地域社会が当事者を排除することなく支える権利擁護の視点の2つの視点に立脚して、小地域ネットワーク活動、在宅福祉サービス、総合相談・生活支援活動の充実・強化を図りました。

1 地域協働における重層的な福祉活動とケア体制の充実

(1) 小地域（日常生活圏域）における住民参加による地域ケア体制の構築

① 小地域福祉活動推進事業

ア 地域総合福祉活動（ふれあい型・ケアネット型・融合型）事業

小学校区をエリアとした、いきいきサロン等福祉コミュニティの振興と要支援者に対する個別援助活動への助成

15市町村 259地区で実施、助成総額 30,199,000円

イ 地域総合福祉活動ケアネットセンター運営事業

ケアネット型事業を実施する市町村社協に対しコーディネーター業務費用等助成

15市町村社協で実施、助成総額 31,750,000円

ウ 地域総合福祉活動ケアネット活動支援事業

ケアネット型事業を実施する社協及び地区に対する助言指導、ケアネット活動の普及啓発事業等

- ・ ケアネット活動普及啓発事業（パンフレット4,000部を作成し、研修会・地区懇談会等での配付）
- ・ ケアネットアドバイザー派遣事業の実施
市町村社協及び地区社協で開催するケアネット活動に関する研修会へ講師の派遣を行った。
- ・ ケアネット支援職員配置事業
- ・ ケアネット活動コーディネーター研修事業
(第1回) 平成28年6月30日（木）～7月1日（金）
立山町元気交流館みらいぶ 参加者：23名
立山町2地区（立山地区社協・下段地区社協）の地域アセスメント実習及び個別課題、地域課題解決に向けた計画策定
ケアネットセンター連絡会の開催
(第2回) 平成28年9月6日（木）
サンシップとやま 参加者：21名
ケアネット活動推進のための課題抽出
(第3回) 平成28年11月1日（金）
サンシップとやま 参加者：13名
ケアネット活動推進のための具体的な取り組み

- ・ 富山県地域総合福祉ケアネット活動評価検討委員会
平成29年3月9日（火） サンシップとやま
ケアネット活動推進のための今年度の実施状況及び来年度の計画、本事業の方策の報告、介護保険制度改正に伴う総合事業・地域支援事業とケアネット活動との関係性について説明
- ・ ケアネット活動リーダー研修会の開催
平成29年2月17日（金） 南砺市・井波社会福祉総合センター
基調講演「地域力強化とケアネット活動の方向性
～介護保険改正と地域力強化検討会中間報告から見えるもの～」
講師 富山福祉短期大学 准教授 宮嶋 潔 氏
シンポジウム
コーディネーター 宮嶋 潔 氏
シンポジスト 南砺市南砺市南山田地区社会福祉協議会
地域福祉サポーター 山下 正三 氏
砺波市青島地区福祉推進協議会長 脊戸 満 氏
小矢部市埴生地区社会福祉協議会会長 山本 善勝 氏
参加者：砺波地区ケアネット活動リーダー等 100名

（２）地域における総合相談・生活支援システムの基盤強化

① 総合相談体制の整備

- ア 高齢者相談業務担当職員研修会の開催
地域包括支援センター等の職員を対象に、相談援助技術の向上を図るため研修会を実施
平成28年11月21日（月） 富山総合情報センター 参加者：73名
事例発表「複合的な問題を抱えている家族の支援について」
発表者 社会福祉法人となみ野会 砺波ふれあいの杜 居宅介護支援事業所
介護支援専門員 中川 寿実 氏
講演「複合的な問題を抱えるケースへの包括的な相談支援の在り方について」
講師 社会福祉法人ワーナーホーム
中核地域生活支援センター さんぶエリアネット（千葉県）
センター長 吉井 稔 氏

② 生活福祉資金(総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金)、臨時特例つなぎ資金の貸付

- ア 運営委員会の開催（年5回：6/15、7/22、9/28、11/16、12/9）
- イ 生活福祉資金の貸付決定実績：277件、48,239,356円
- ウ 臨時特例つなぎ資金貸付決定実績：3件、167,000円
- エ パンフレット「生活福祉資金貸付制度のご案内」 一般向け版3,000部
民生委員児童委員版4,000部
- オ 生活福祉資金利子補給：4件 74,910円
- カ 借受世帯への個別支援活動
- キ 債権管理の強化と不良債権（職権免除を含む。）の整理

③ 生活困窮者自立支援対策推進事業

ア 生活困窮者自立支援のための課題検討会の開催

平成29年2月8日（水） 富山県教育文化会館 参加者：23名

生活困窮者自立支援の取組みを通じた課題を整理し、社協としての対応を検討した。

イ 県民及び福祉関係者への制度周知

民生委員児童委員や地区社協等の研修会において、「生活困窮者自立支援制度」についての説明し、制度の周知を図った。

④ 富山県東部生活自立支援センター運営事業

富山県魚津総合庁舎内に設置した「富山県東部生活自立支援センター」において、県東部8市町村（魚津市、滑川市、黒部市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町）を対象に「自立相談支援事業」及び「就労準備支援事業」を実施

ア 新規相談受付件数：98件、支援プラン策定件数：42件、自立相談支援事業による就労件数：33件

イ 巡回相談及び出張相談の実施：毎月1回、8市町村社協において巡回相談を行うとともに出張相談にも応じた。

ウ 就労準備支援活動として模擬面接、履歴書作成支援、体力づくりウオーキング等を実施した。

エ 富山県弁護士会との連携により、毎月1回、弁護士相談を行うとともに、8市町村の関係者を対象に債務整理の基礎を学ぶ学習会を実施した。

⑤ 社会福祉法人地域公益活動推進事業

市町村社協が主体となって「福祉施設連絡会（地域協議会）」等の設置を図り、地域の福祉課題を共有する場の設定を行うとともに、市町村社協と社会福祉法人・施設それぞれが持つ専門性や資源を活用しながら解決方策について検討を進めていくことを目的に助成。4市社協で開催した福祉施設連絡会に参加並びに事業費の助成を行った。

（黒部市社協、砺波市社協、小矢部市社協、射水市社協）

（3）在宅福祉サービスの充実に向けた取り組み

障害者が地域でより自立した生活ができるよう、「富山県工賃向上支援計画」に基づき、県内の障害者就労支援事業所で働く障害者の工賃水準の向上を図るための各事業所における具体的な取組みの推進を支援

① 工賃向上支援研修会の開催

工賃引上げ推進員等を対象に、工賃向上の考え方と取り組み方法、目標工賃達成のための計画づくりについて学ぶことを目的に研修会を実施

全体研修 平成28年 8月 9日（火） サンシップとやま 受講者：20名

実践研修 平成28年 8月30日（火） サンシップとやま 受講者：10名

実践研修 平成28年10月20日（火） サンシップとやま 受講者：10名

② 地域との連携強化

共同事業ネットワーク構築事業（共同受注の窓口設置）

③ 「工賃引上げ計画」作成・実行サポートコンサルタント派遣事業

新規コンサルタント派遣を希望する事業所 1ヶ所

④ 専門技術者受入支援事業

事業所が希望する専門技術者の派遣費用を助成（4事業所）

⑤ 他産業との連携事業

企業等連携実践研修 平成28年10月5日（水）～6日（木） 長野県長野市
社会福祉法人花工房福祉会 受講者：12名

（4）地域における包括的なケアシステムの推進と地域包括支援センター等との連携・協働の取り組みの強化

① 地域包括ケア推進事業

ア 介護保険制度改正に伴う「地域包括ケア推進」打ち合わせ

総合事業に関する移行及び地域支援事業への取り組みに伴い、ケアネット活動との関係性を検討するため、県行政と連携を図り情報共有の場を設定するとともに、課題や今後の方向性を検討した。

平成28年6月21日（火） サンシップとやま

平成28年9月7日（金） サンシップとやま

イ 協働学習会の開催

総合事業、地域支援事業の推進に向けて、市町村社協と地域包括支援センターとの共同による学習会を開催した。

平成29年1月27日（金） サンシップとやま

・地域包括ケアシステムの取組状況説明 県高齢福祉課

・ふれあいコミュニティケアネット21の説明及び活動状況 県社協及び黒部市社協

・ワークショップ

参加者：50名

（5）民生委員・児童委員との連携・協働

① 民生委員児童委員互助共励事業の実施

全国互助共励事業 1,076件、4,342,000円

② 富山県民生委員児童委員協議会の活動支援

ア 全社協が主催する民生委員児童委員のための相談技法研修会への派遣

・相談技法研修 平成28年8月22日（月）～23日（火）

TOC有明（東京都江東区） 2名派遣

イ 民生委員・児童委員研修

・市町村・地区民生委員児童委員会会長研修

平成28年6月14日（火） とやま自遊館

参加者：169名 研修報告・分科会

・市町村民生委員児童委員協議会会長・副会長研修会

・中堅民生委員・児童委員研修

平成28年11月7日（月） サンシップとやま

参加者：268名 基調講演・活動実践報告

・新任民生委員・児童委員研修

平成29年1月20日（金） 富山県民会館

- 参加者：907名 講義
- ・ 民生委員・児童委員課題別研修（年2回）
 - 第1回：平成29年2月13日（月） 富山県高岡文化ホール
 - 第2回：平成29年2月15日（水） ボルフアートとやま
 - 参加者 計161名（第1回49名、第2回112名） 講義・事例検討
 - ・ 主任児童委員・児童委員合同研修
 - 平成28年9月7日（水） 富山国際会議場
 - 参加者：445名（主任児童委員194名、児童委員251名） 基調講演・シンポジウム
 - ・ 相談事業・相談担当者研修会
 - 平成29年3月24日（金） ボルフアートとやま 参加者：72名
 - 講義「相談援助と地域での支援・連携」
 - 事例検討
 - 講師 富山国際大学 子ども育成学部 准教授 相山 馨 氏
 - 事例提供者 富山市社会福祉協議会 主事 清水 陽子 氏
 - 記録者 舟橋村社会福祉協議会 主任 四家井 格 氏

（6）福祉のまちづくり活動の推進

○ 富山県民福祉推進会議の運営

ア 富山県民福祉推進会議の開催

平成28年7月12日（火） サンシップとやま
 議事：平成27年度事業報告、平成28年度事業計画
 地域福祉関連事業の説明

「子どもの貧困対策の現状と課題」

富山国際大学 子ども育成学部 准教授 村上 満 氏

福祉のまちづくり推進に関する意見交換 福祉のまちづくり宣言

イ やさしい福祉のまちづくり賞の表彰と普及・啓発

- ・ 第18回「やさしい福祉のまちづくり賞」表彰選考審査会の開催
 - 平成28年10月5日（水） サンシップとやま
- ・ 福祉のまちづくり賞大賞等の表彰（活動や取り組みの部門）まちづくり賞2点
 （施設等の部門）まちづくり賞1点

ウ 福祉フォーラムの開催

- ・ 第20回福祉フォーラムの開催
 - テーマ「未来のまちをつくる 子どもたちの笑顔のために！」
 - 平成28年11月12日（土） サンシップとやま 参加者：180名
 - 講演テーマ「子どもたちへ…夢は描いた瞬間に叶う！」
 - 講師 モデル・女優 高橋 ユウ 氏
 - パネラー 富山国際大学 子ども育成学部 准教授 村上 満 氏
 オタヤ子ども食堂 代表 田辺 恵子 氏
 家庭相談員(富山市学習支援事業) 老月 敏彦 氏
 - コーディネーター 北日本放送株式会社 アナウンサー 陸田 陽子 氏

2 地域における総合的な権利擁護、日常生活支援体制の構築

(1) 身近な地域における権利擁護相談支援の推進

① 日常生活自立支援事業を全市町村で実施

相談件数：19,747件、契約締結件数：新規100件

実利用件数：497件(平成28年度末現在)

ア 契約締結審査会の開催

- ・ 第1回 平成28年 6月17日 (金)
- ・ 第2回 平成28年 9月 9日 (金)
- ・ 第3回 平成28年12月 9日 (金)
- ・ 第4回 平成29年 3月10日 (金)
- ・ 相談案件4件、日常生活自立支援事業利用者の支援に関する助言、契約内容の報告、日常生活自立支援事業報告、運営適正化委員会からの指摘事項に関する対応報告など

イ 生活支援員の確保と養成・登録者研修の実施

- ・ 生活支援員 380名を配置
- ・ 新規生活支援員養成研修会の開催
 - I 課程 平成28年7月9日 (火) サンシップとやま 参加者：42名
 - II 課程 平成28年7月21日 (木) サンシップとやま 参加者：36名
- ・ 生活支援員研修会の開催
 - 平成28年12月15日 (木) ボルフアートとやま
 - 参加者：76名 (生活支援員71名、社協職員5名)
 - 講義「生活支援員活動における利用者支援のあり方について
～生活支援員として 今、私が語りたいこと～」
 - グループ討議「活動の留意点や課題について」
 - 講師 神奈川県立保健福祉大学 名誉教授
東京ボランティア・市民活動センター 所長
山崎 美貴子 氏

ウ 専門員研修(地方ケースカンファレンス：全社協と共催)の実施

- ・ 平成28年12月16日 (金) サンシップとやま 参加者：15名
 - 専門員から提出された援助事例によりケースカンファレンスを実施。
 - 講師 神奈川県立保健福祉大学 名誉教授
東京ボランティア・市民活動センター 所長 山崎 美貴子 氏
国立市社会福祉協議会 課長 山地 晴義 氏
富山県社会福祉士会 副会長 清水 剛志 氏

エ 関係機関連絡会議の開催

- ・ 日常生活自立支援事業専門員連絡会 (1回)
- ・ 成年後見制度事例研究会の共催 (年6回 うち1回 11月 本会主管)
- ・ 成年後見制度無料相談会の共催
(県司法書士会、成年後見センター・リーガルサポート富山県支部主催)

オ 広報・啓発、調査研究の実施

- ・ パンフレットの配布
- ・ 生活支援員だより「よりそい」の発行 (年2回 各762部)

- ・ 富山県社会福祉士会 ぱあとなあ富山との共催により、「平成28年度高齢者・障がい者の権利擁護のための出前講座」の開催（6か所）
- ・ 全市町村社協を訪問し、利用者の状況確認、預金通帳及び関係書類の確認、事業に関する問題点・課題について調査実施

3 市町村社協の活動基盤の強化への支援

(1) 市町村社協役職員の資質向上

① コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修、フォローアップ研修の開催

ア コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修

前期：平成28年10月22日（土）～23日（日）

後期：平成28年11月26日（土）～27日（日）

サンシップとやま 修了者：7名 協力：NPO法人 日本地域福祉研究所

講師 早稲田大学人間科学部健康福祉科学科教授 田中 英樹 氏

助手 呉 恩恵 氏

イ コミュニティソーシャルワーク実践者フォローアップ研修

平成29年2月4日（土） サンシップとやま 参加者：9名

講師 早稲田大学人間科学部健康福祉科学科教授 田中 英樹 氏

事例発表者 立山町社会福祉協議会 主事 末永 司 氏

内容：事例からコミュニティソーシャルワークによる支援を検討

② 市町村役員セミナーの開催

平成29年3月13（月） 高志会館 参加者：52名

活動報告「立山町社協における地域福祉活動への取組み

～地域福祉活動計画策定を目指す中で～」

報告者 立山町社会福祉協議会 会長 清水 清信 氏

講演「社会福祉法人制度改正と社会福祉協議会の今後」

講師 全国社会福祉協議会 常務理事 渋谷 篤男 氏

③ 地域福祉推進担当者会議の開催

市町村社協の地域福祉担当、ボランティア担当、生活福祉資金貸付担当、日常生活自立支援事業担当、生活困窮者自立支援事業担当者を対象に今後の活動方針を協議

内容：地域福祉の動向、各担当から新年度事業説明、次年度予算、新規・重点事業の説明等について

第1回 平成28年5月8日（金） サンシップとやま 参加者：62名

④ 市町村社協職員研修・支援事業

ア 社会福祉協議会新任職員研修会

平成28年9月16日（金） サンシップとやま 参加者：17名

講義Ⅰ「社会福祉協議会の基本理念と職員に求められているもの」

県社協 地域福祉部長 野田 智

実践報告「住民の期待と地域の協働」

報告者 氷見市社会福祉協議会地域福祉課長 山田 哲也 氏

演習「市町村社会福祉協議会の役割について考える」

演習指導者 上市町社会福祉協議会 福祉係長 島田 恵美子 氏

朝日町社会福祉協議会 主任 廣田 和也 氏

イ 市町村社会福祉協議会事務局長研修会

平成28年10月12日（水） 高志会館 参加者：35名

基調講演「社会福祉法人制度改正を踏まえた社会福祉協議会の役割りと
マネジメント」

講師 全国社会福祉協議会 地域福祉部長 高橋 良太 氏

協議事項 社会福祉法人制度改正について

⑤ 住民主体の地域ケア会議推進事業

地域ケア会議の手法とファシリテーター養成講座 受講者 10名

第1回 平成28年6月18日（土）～19日（日） サンシップとやま

講義 「地域ケア会議の技術」

講師 半田市社会福祉協議会ふくし支援グループ長 前山 憲一 氏

事例検討 4事例

第2回 平成28年7月27日（水） サンシップとやま 事例検討 3事例

第3回 平成28年8月30日（火） サンシップとやま 事例検討 3事例

第4回 平成28年9月22日（金） サンシップとやま 事例検討 2事例

（2）市町村社協の基盤強化支援

① 市町村社協巡回指導

「地域福祉活動計画」の改訂に取り組む市町村社協への職員派遣、市町村社協及び各地区
社協への講演や地域福祉推進員等の研修会への講師派遣、情報提供等

地域福祉活動計画策定済：14市町

② 市町村社協活動強化費助成事業

・地域福祉活動計画事業 5市町社協（魚津市社協、氷見市社協、滑川市社協、小矢部
市社協、南砺市社協）へ助成

・地域サービス創造事業 3市社協（魚津市社協・黒部市社協、砺波市社協）へ助成

③ 社会福祉協議会新会計基準研修会の開催

平成29年1月12日（木） サンシップとやま 参加者：33名

講義「改正社会福祉法と会計実務における留意事項について」

講師 富山県社会福祉協議会監事（経営指導事業専門経営指導員）

あおぞら経営税理士法人代表社員 中村 厚 氏（公認会計士・税理士）

第2 多様な機関との連携・協働による福祉教育の推進とボランティア・市民活動への支援

地域の福祉課題・生活課題について住民自らが考え、課題解決に向けて実践的に取り組めるよう成長していくための学習として、学校内や子どもだけにとどまることなく、学校、地域、社協が一丸となった地域を基盤とした福祉教育・ボランティア学習の推進を図りました。

また、多様化する生活の中で、県民がそれぞれ主体となり、生きがいや新たな課題等を自ら学び、実践する市民活動に参加する人たちへの支援として、企業の社会貢献活動推進のためのセミナーや講座を開催しました。さらに、多発する災害の支援経験から、安心・安全なまちづくりを進めていくうえで、平常時からの「支え合い」活動や住民相互のつながりを強めるため、関係機関等との協働による防災・減災の取組みを進めました。

1 幅広い連携・協働による福祉教育・ボランティア学習の推進

(1) 福祉教育・ボランティア学習の推進

① 福祉教育地域指定推進事業

学校と地域、市町村ボランティアセンター等が企画段階から協働し、地域の社会資源を活かした福祉教育・ボランティア体験学習を実施するため、14市町村社協（14か所）を指定。

② 福祉教育サポーター養成確保モデル事業

身近な地域（地元）で、多様な団体、学校、地域が協働で取り組めるような「福祉教育」に取り組むようモデル的に「福祉教育サポーター」の養成確保の実施検討を小矢部市社協、上市町社協、入善町社協で実施した。（各社協において、1～3回の検討委員会を開催、養成カリキュラムについての検討、福祉教育サポーター養成研修開催）また、県社協では、「福祉教育サポーター推進委員会」を年2回開催し、モデル市町村社協の進捗状況の把握や今後の支援について検討した。

第1回：平成28年12月14日（水） サンシップとやま

第2回：平成29年3月16日（木） サンシップとやま

③ 高校生介護等体験特別事業の実施（2校指定）

県立雄山高校と富山第一高校の2校を平成27年～29年指定し、介護体験、ボランティア活動等を行った。

④ 富山県福祉教育セミナーの開催

平成29年3月17日（金） サンシップとやま 参加者：45名

基調講演「まちづくりと福祉教育」

講師 高知大学教育学部 講師 三ツ石 行宏 氏

シンポジウム

「福祉教育サポーター養成確保事業から今後の福祉教育の方向性を考える。」

シンポジスト

小矢部市社協 主事 杉谷 誉志子 氏

上市町・社会福祉法人新川会 四ツ葉園地域生活相談センター 牧野 武 氏

入善町・福祉教育サポーター検討委員会委員長 小路 みつ子 氏

市民福祉教育研究所 主宰 阪野 貢 氏

コーディネーター
富山県福祉教育推進委員会委員長
富山県ボランティアセンター運営委員会委員長 中西 彰 氏
アドバイザー
高知大学教育学部 講師 三ツ石 行宏 氏

2 幅広い連携・協働による市民活動の推進

(1) ボランティアセンターの機能強化と市民活動との連携・協働への支援

① ボランティア活動拠点の整備

ア ボランティア交流サロンの使用状況（平成29年3月末現在）

利用団体数 834団体、利用者数 3,932名

イ ボランティアワークルームの利用状況

利用団体数 547団体、印刷枚数 547,820枚

② 県ボランティアセンターの運営

・運営委員会の開催 年2回（9月、3月）

・助成金選考会の開催 年1回（9月）

・関係会議及び県内外研修会等に参加及び講師出向（全国社会福祉協議会、ブロック社協職員会議、研修会、福祉関係学会、市町村社協の研修等）

③ 市町村ボランティアセンター活動事業

地域課題に対応する先駆的、自主的な市町村ボランティアセンターの取り組みを促進し、ボランティア活動の一層の振興を図るため市町村社協に助成

（養成・研修事業、広報・啓発事業、災害救援ボランティア支援事業、調査・研究事業、ボランティアセンター運営事業 15市町村 8,551千円助成）

④ ボランティア活動養成研修事業の実施

ア 施設ボランティア受け入れ研修

平成28年8月1日（月） 富山県市町村会館 参加者：44名

講義・ワークショップ

「ボランティア受け入れの基本

福祉施設のボランティア受け入れ～今、なぜボランティアなのか」

講師 NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会理事 妻鹿 ふみ子 氏

イ ボランティアコーディネーター等養成

（第1回）平成28年8月2日（火）サンシップとやま 参加者：17名

講義・ワーク「ボランティアコーディネーター基礎

～ボランティアのキホン、コーディネーションのキホン」

講師 NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会理事 妻鹿 ふみ子 氏

（第2回）平成28年8月31日（水）富山県教育文化会館 参加者：18名

講義・ワーク「ボランティアコーディネーションの基本」

講師 NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会理事 疋田 恵子 氏

(第3回) 平成28年10月25日(火) サンシップとやま 参加者:15名
講義・ワーク「福祉教育が目指すものと進め方」
講師 富山短期大学 福祉学科 学科長 教授 関 好博 氏

⑤ ボランティアサポーターの設置

15市町村社協288名の委嘱を行い、地区でのボランティア活動に関する相談や情報提供、市町村ボランティアセンターの活動等を支援

⑥ ボランティア活動コーディネーター設置事業

市町村ボランティア活動コーディネーターの設置助成(15市町村22名分)

(2) 福祉のまちづくりの視点による市民活動団体等との連携・協働

① ボランティア情報誌の発行

県社協「福祉とやま」(奇数月に各12,000部発行)の中に、ボランティアグループ・NPO団体や小・中・高校等の活動状況、助成金情報等関係の記事を掲載

配布先:市町村社協、市町村行政、県内福祉施設、小中高校、図書館・公民館等
教育施設等

② ボランティア情報提供事業の充実

マスコミ各社、関係機関等に毎週1回ボランティア情報を提供、県社協ホームページにボランティア情報等を掲載

ア ボランティア活動強調月間事業の実施

10月の強調月間中の10月1日に富山駅でのチラシ等配布、県内各市町村社協がボランティアフェスティバル等の開催

イ ボランティア活動の活動メニュー等を記載したハンドブックを1,200部作成・配布

③ 企業の社会貢献ボランティア活動推進事業

企業に勤務する社員やOB等を対象に、シニア世代の経験や知識、パワーを活かすため、ボランティア・NPO活動への参加を促した。

・企業社員の社会貢献セミナー

平成29年3月15日(水) パレブラン高志会館 参加者:26名

基調講演「地域における企業の役割とNPOとの連携」

講師 株式会社上越タイムス社 代表取締役社長

非営利活動法人くびき野NPOサポートセンター 理事 大島 誠 氏

パネルディスカッション「事例報告提供とディスカッション」

コーディネーター

特定非営利活動法人日本NPOセンター 田尻 佳史 氏

パネリスト

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社 城 千聡 氏

有限会社 食のコンサルタントブーケ 大畑 洋子 氏

④ アクティブシニア地域デビュー講座

退職する団塊の世代の経験や知識、パワーをボランティア・NPO活動への参加により、地域社会に活かすため、県内2か所で講座を開設

(富山会場)

平成29年1月21日(土) 富山市総合社会福祉センター 参加者:13名

講義「ボランティアとは？」

講師 富山市社会福祉協議会 富永 幸子 氏

活動者の情報交換会

平成29年3月4日(土) 富山市総合社会福祉センター 参加者:11名

平成29年1月23日(月)～3月3日(月)の期間中、富山市14か所にて参加者のボランティア活動体験を通してのフリートーク

参加者:延べ52名(ボランティア体験者数含む)

(高岡会場)

平成29年2月10日(金) 高岡市ふれあい福祉センター 参加者:13名

講義「“活と活と”なシニアライフのためのボランティア活動

—自分サイズの強みを活かした社会貢献—

講師 富山国際大学 子ども育成学部 教授 村上 満 氏

活動者の情報交換会

平成29年3月6日(月) 高岡市ふれあい福祉センター 参加者:14名

平成29年2月上旬～下旬に高岡市内(3か所)での活動を通しての情報交換会

参加者:延べ41名(ボランティア体験者数含む)

⑤ ボランティアグループ活性化等発掘支援事業の実施

設立後、間もないボランティアグループ 2団体 399千円 助成

3 高齢者の生きがいづくりと社会参加活動への支援

(1) 高齢者の生きがいづくりの推進

① 「健康と長寿の祭典」開催事業

「いきいきとやま・第29回健康と長寿の祭典」の開催

平成28年11月8日(火)～9日(水)、富山県民会館 約4,000名来場

式典(表彰、講演等)、展示・相談・体験コーナー35、老人若返り祭り等

実行委員会に委託(関係機関・団体計33、事務局:当会いきいき長寿センター)

② 「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」参加事業

「第29回全国健康福祉祭ながさき大会(ねんりんピック長崎2016)」に選手を派遣

平成28年10月15日(土)～18日(火)、22種目、選手団164名派遣、美術展11点出品、

個人優勝(マラソン)、優秀賞12(団体5、個人7)

県内予選会の開催(15種目、合計3,197名参加)

第15回富山ねんりん美術展の開催

(平成28年11月8日(火)～9日(水)、6部門 106点、638名来場)

③ いきいき長寿大学開催事業

・すこやか生活講座(富山会場220名、高岡会場179名、合計399名参加)

平成28年6月～9月、各会場8回、合計16回

健康（胃腸、口腔、関節、脳神経）、筋力、認知症、郷土、相続税

- ・ 専門的実践講座（脳トレリーダー養成講座）（会場：立山町、27名参加）

平成28年10月～平成29年1月、6回

認知症予防に効く脳トレーニング、脳トレーニングの問題づくり、体験活動の進め方、

立山町内公民館等での体験活動、実習報告会、グループづくり

ほか、クラブ設立説明会1回、脳トレクラブ情報交換会1回

④ 元気高齢者の仲間づくり支援事業

- ・ サークルの登録及び支援

（元気高齢者サークル、ねんりん健康運動推進クラブ等、合計59団体を登録）

- ・ ねんりん健康運動普及指導員研修会の開催

（平成29年2月16日（木）、関節疾患の予防、高齢期のストレス、ねんりんピック参加者等42名参加）

- ・ 情報提供・相談業務（相談員1名配置、相談件数90）、県内のシニアサークル一覧をホームページに掲載（600サークル）、情報誌の発行（年4回、各7,200部）
- ・ 体験教室及び世代間交流会の開催（ラジホール卓球等6種目、8回、466名参加）
- ・ 高齢者サークル活動支援のための体験教室開催（6回、全体189名うち体験63名）

⑤ いきいき友の会事業の運営

会員数（平成29年3月末現在） 個人6,011名、法人・団体44

ア 個人会員サービス提供事業

- ・ 情報誌発行事業

情報誌「V I T A」の発行（年4回、各5,400部を会員に送付）

- ・ サービスカード発行事業

会員証による割引サービスの実施

割引協力店77先（121店舗）一覧を7,200部発行

- ・ 友の会フェスティバル開催事業

「第26回講演と演芸のつどい」の開催

平成28年7月2日（土）オーバード・ホール 来場者数 1,071名

トーク（女優 紺野美沙子）、落語（三遊亭白鳥）、漫才（にゃん子・金魚）

- ・ 催事割引事業

コンサート、寄席、演劇等のチケット割引サービス（33公演、1152名利用）

- ・ V I T A旅行会開催事業

15企画のうち4企画を実施（国内外、合計98名参加）

- ・ 趣味の講座開催事業

初級英会話講座（6回コース）、パソコン教室（年賀状）、

美術鑑賞講座、講演会等19回、合計497名参加）

生きがいつくり普及推進員意見交換会1回

イ 法人会員サービス提供事業

- ・ 情報誌「V I T A」に企業名を掲載

- ・ 情報誌「V I T A」の配付（年4回、各回3部）など

ウ 会員組織の強化

- ・ 既存VITAクラブ35の支援(折り紙、ダンス、ウクレレ、川柳等、約750名登録)
- ・ クラブ主催の新規会員体験講座の開催 (1クラブ、合計30名参加、うち入会2名)
- ・ VITAクラブ情報交換会 1回

エ 友の会事業研究会

- ・ 全会員を対象に「会員サービスアンケート」を実施 (回答639名)
- ・ 会員制度を有する推進機構勉強会 1回 (5府県参加、会場：京都府)

(2) 高齢者の社会参加活動の促進

① シニアタレント社会活動事業

- ・ 養成研修会の開催 (平成29年2月23日(木)～24日(金)、77名参加)
- ・ シニアタレント・語り部・シニアタレントグループ登録者
(シニアタレント198名・語り部58名・シニアタレントグループ49団体)
- ・ シニアタレント・語り部バンクニュースの発行 (年4回、各7,200部)
- ・ 連絡協議会の開催 (委員9名、12回)
- ・ シニアタレント祭りの開催 (平成28年9月3日(土)、約350名参加)
活動発表、記念合唱、展示、体験コーナー

② 情報誌発行事業

中高年向け情報誌「V I T A (ビタ)」の発行 (年4回、各1,800部)

③ エイジレス社会活動推進事業

エイジレス社会(生涯現役社会)を実現するため、県民意識転換のための普及啓発や高齢者の社会活動への参加を促進、また、地域社会の担い手として活躍するリーダーを養成

ア エイジレス社会づくりリーダー養成塾開催事業

- ・ 生活支援等の提供グループ設立に向けた実践講座(全9カリキュラム)の開催
(平成28年8月20日(土)～12月17日(土)、修了者25名)

イ 先進的取組みの顕彰事業

- ・ 富山県エイジレス社会活動推進協議会により選定(8名、3団体)
- ・ 「富山県地域包括ケア推進県民フォーラム」で顕彰式実施(平成28年11月23日(水・祝))

4 福祉的視点による防災・災害支援活動の充実

(1) 災害時の要援護者支援・福祉救援の取り組みの充実

県民に幅広く、災害救援ボランティア活動の普及を図るため講演会及び登録ボランティアコーディネーター・リーダーの県防災訓練への参加を実施

① 災害救援ボランティア訓練モデル事業

災害救援ボランティア講演会&フォローアップ研修会

平成29年3月5日(日) パレブラン高志会館 参加者：56名

基調講演「熊本地震・鳥取地震を振り返る」

講師 日野ボランティア・ネットワーク事務局 山下 裕彦 氏

シンポジウム「熊本市社協・益城町社協支援から見る地震災害」

シンポジスト

社会福祉法人石川県社会福祉協議会 専門員 村田 明日香 氏

富山県生活協同組合 宅配事業部 河内 翔 氏

社会福祉法人魚津市社会福祉協議会 主事 高瀬 智也 氏

コーディネーター 日野ボランティア・ネットワーク事務局 山下 裕彦 氏

② 災害救援ボランティア情報伝達訓練及び災害救援ボランティア実施訓練

平成28年8月27日（土）8:00～12:00

砺波市・小矢部市・南砺市で開催された県防災訓練において、各市災害救援ボランティア本部の立上訓練を行い、地域の住民・ボランティアの参加を得て、県社協登録ボランティアコーディネーター・リーダー28名が参加。

（2）災害ボランティア活動の展開支援

① 災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修会の開催及び登録

第1回 平成28年7月2日（土） サンシップとやま 参加者：38名

講義・ワーク「災害支援の全体像と被災者ニーズ」

講義・ワーク「災害ボランティアセンターの概要」

講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク

事務局長 李 仁鉄 氏

第2回 平成28年7月24日（日） 富山テクノホール 参加者：41名

講義・ワーク「災害ボランティアセンターの演習」

講義・ワーク「要援護者の課題・対策と日常の福祉活動」

講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク

事務局長 李 仁鉄 氏

第3回 平成29年2月10日（金） サンシップとやま 参加者：20名

ワーク「クロスロード」

講師 富山県社会福祉協議会

地域福祉・ボランティア振興課長 古野 智也

※平成29年3月末現在、173名の災害救援ボランティアコーディネーター・リーダーが登録。

② 災害救援ボランティアコーディネーター・リーダーフォローアップ研修会

災害救援ボランティア講演会&フォローアップ研修会と統合し開催

（3）専門職等関係の連携・協働

① 北陸三県社協合同災害研修開催事業

平成28年4月に発災した熊本地震での、東海北陸ブロック派遣職員の活動報告。また、今後も起こりうるであろう、被災地派遣を想定した職員の養成および遠隔地での被災地支援活動のあり方について学んだ。

平成28年8月23日（火） 富山県総合情報センター 参加者：46名

報告 「平成28年熊本地震の支援報告～各フェーズに沿った支援～」

発表① 福井県社会福祉協議会 杉本 吉弘 氏

発表② 石川県社会福祉協議会 村田 明日香 氏
発表③ 福井県美浜町社会福祉協議会 熊谷 誓成 氏
発表④ 富山県富山市社会福祉協議会 富永 幸子 氏
ワーク 「実際のボランティアセンターへの問い合わせから考える
～問い合わせに対応する知識や力を得よう～」
アドバイザー NPO法人 にいがた災害ボランティアネットワーク
事務局長 李 仁鉄 氏
進行 石川県社会福祉協議会 村田 明日香 氏

② 市町村社協災害ネットワーク推進事業

災害時における県社協と県内社協の緊急連絡網及びメールによる緊急通報システムを整備

③ 災害福祉広域支援事業

富山県内における災害時の福祉広域支援ネットワークを構築するため、福祉施設団体・福祉職能団体・県行政等で検討委員会を設置し、支援方策やネットワークのあり方等について検討を行った。

- ・災害時における福祉・介護分野の広域的支援ネットワーク打合せ会

平成29年1月17日（火） サンシップとやま 参加者：5名

報告 「熊本地震の支援にかかる介護職員派遣に参加して」

社会福祉法人 宣長康久会 ささづ苑 大西 敦子 氏

報告 「熊本地震の支援にかかる介護職員を派遣して」

社会福祉法人 宣長康久会 特別養護老人ホームささづ苑 岩井 広行 氏

- ・今後の予定について

第3 福祉サービスの利用者と提供者への支援

地域において、県民一人ひとりが安心して生活するためには、福祉サービスを適切に利用する仕組みが重要であることから、誰もが住み慣れた地域（市町村域及び日常生活圏域）において必要なサービスを利用し、安心して生活することができるよう、福祉についての相談やサービス利用の際に必要な支援の充実を図るとともに、福祉サービス提供者に対しては、サービスの質の向上と経営基盤の強化・支援を行うなど、福祉サービスをより利用しやすい環境づくりに努めました。

1 総合相談体制の充実と心豊かな自立生活への支援

(1) 各種ニーズに対応した福祉総合相談体制の充実

① 福祉総合相談センターの運営

ア 子どもからお年寄りの保健・医療・福祉をはじめ、県民の日常生活における困りごとや悩みごと等の相談に電話・来所・Eメール等により対応

イ 悩みごと相談（一般相談員）、専門相談（弁護士、税理士、社会保険労務士、保健師）、認知症ほっと電話相談（保健師）を実施

総相談件数 計 3,073件（悩みごと2,064件、専門982件、認知症27件）

内、一日出張相談所 11か所 203件

ウ 高齢者関係相談機関連絡協議会の開催

平成28年8月9日（火） サンシップとやま

構成：16機関・団体

エ シルバー110番だよりの発行 年4回 各1,100部

② 障害者権利擁護・虐待防止推進事業

ア 連携協力体制整備事業

- ・ 障害者虐待防止ネットワーク協議会の開催

平成29年2月21日（火） 富山県民会館

構成：21機関・団体

- ・ 利用者からの虐待に関する通報・届出の受理
- ・ 障害者及び養護者支援に関する相談対応
- ・ 障害者虐待の防止に関する情報の収集・提供

イ 障害者権利擁護・虐待防止研修事業

- ・ 障害者権利擁護・虐待防止研修会の開催

平成28年12月16日（金） ボルファートとやま 参加者：94名

講義Ⅰ「障害者虐待防止法の概要及び富山県の現状について」

講師 富山県障害福祉課自立支援係長 杉田 尚美 氏

講義Ⅱ「障害者虐待防止法～当事者の立場で考える～」

講師 富山県福祉短期大学社会福祉学科

社会福祉専攻長/教授 鷹西 恒 氏

コース別に事例を基に演習

『障害者福祉施設等における障害者虐待防止の対応研修コース』

「職員アンガーマネジメントとメンタルヘルス」

講師 社会福祉法人麦の子会 総合施設長 北川 聡子 氏
「障害者福祉施設、障害者福祉サービス事業所における
障害者虐待防止法の理解と対応」

参加者：53名

『権利擁護・虐待防止センター担当職員等研修コース』

「障害者虐待に関する労働局との連携について」

講師 富山労働局雇用環境・均等室室長補佐 吉田 勉 氏

「知的障害者のコミュニケーション特性と面接技術」

講師 富山県高岡児童相談所相談支援班長 松本 吉永 氏

参加者：11名

ウ 普及啓発事業

- ・ 障害者虐待防止リーフレットの作成・配布 作成数：16,000部
配布先 福祉サービス事業提供法人他関係機関（382か所）、
スーパーマーケット、コンビニエンスストア等（194店舗）
- ・ 障害者週間街頭PR JR富山駅前北口・南口
平成28年12月3日（土）

③ 難病相談・支援センター事業

ア 難病患者等に対する個別相談（専門医・社会保険労務士による相談含む）

- ・ 相談支援業務 実人数 669名、延人数 2,874名
- ・ ピアサポーターによる相談 16回 相談者：延16名

イ 難病患者に対する就労支援

- ・ 就労支援者数 141名（延599名）
- ・ 職場訪問等 12回

ウ 講演会、研修会等の開催（患者・家族・支援者等）

- ・ 講演会・研修会
 - ・ 平成28年4月23日（土） 「多発性硬化症/視神経脊髄炎」 参加者：31名
講師 独立行政法人国立病院機構医王病院 第一診療部長 高橋 和也 氏
 - ・ 平成28年6月11日（土） 「肺動脈性高血圧症・慢性血栓性肺高血圧症」 参加者：10名
講師 富山大学附属病院 第二内科 診療准教授 城宝 秀司 氏
 - ・ 平成28年6月25日（土） 「もやもや病（小児含む）」 参加者：20名
講師 富山大学附属病院 副院長 脳神経外科科長 黒田 敏 氏
 - ・ 平成28年7月23日（土） 「小児血友病等血液・免疫疾患」 参加者：11名
講師 富山大学附属病院 小児総合内科 副科長 野村 恵子 氏
 - ・ 平成28年7月30日（土） 「小児成長ホルモン分泌不全性低身長症」 参加者：7名
講師 富山県立中央病院 小児科部長 五十嵐 登 氏
 - ・ 平成28年9月17日（土） 「悪性関節リウマチ」 参加者：6名
講師 富山大学附属病院 免疫・膠原病内科 副科長 篠田 晃一郎 氏
 - ・ 平成28年10月1日（日） 「球脊髄性筋萎縮症」 参加者：10名
講師 富山市民病院 神経内科部長 林 茂 氏
 - ・ 平成28年10月29日（土） 「シェーグレン症候群」 参加者：24名
講師 富山大学附属病院 免疫・膠原病内科 副科長 篠田 晃一郎 氏

- ・平成28年10月29日(土) 「バーチエット病」 参加者：24名
講師 金沢医科大学病院 血液・リウマチ膠原病科長 正木 康史 氏
- ・平成28年12月13日(火) 難病患者支援(新任保健師)研修会 参加者：12名
講師 富山大学附属病院 神経内科 診療准教授 田口 芳治 氏 他
- ・平成29年2月14日(火)/3月3日(金) 「難病患者等ホームヘルパー養成研修」 参加者：23名
講師 富山大学附属病院 神経内科 診療准教授 田口 芳治 氏 他
- ・平成29年3月18日(土) 「自立支援講演会」 参加者：33名
講師 真生会富山病院 心療内科部長 明橋 大二 氏
- ・疾患別交流会
 - 平成28年5月21日(土) 天疱瘡 参加者：2名
 - 平成28年6月18日(土) 高安動脈炎 参加者：1名
 - 平成28年9月15日(土) 間質性肺炎 参加者：5名
 - 平成28年10月20日(土) 重症筋無力症 参加者：8名
- ・ピアサポーター養成講座
 - 第1回 平成28年8月6日(土) 「難病患者の災害対策」 参加者：24名
講師 富山県防災士会 副会長 野田 隆志 氏
 - 第2回 平成28年12月3日(土) 「患者会活動について」 参加者：19名
講師 富山大学人文学部 社会文化コース准教授 伊藤 智樹 氏
- ・慢性疾患セルフマネジメントプログラムワークショップ(第5回)
平成28年9月24日(土)～全6回 参加者：8名(延76名)
リーダー 日本慢性疾患セルフマネジメント協会 認定リーダー 万谷 葉子 氏 他
- エ 難病患者の支援啓発事業
対象：医療・介護者を目指す学生 7回 計669名
- オ 交流サロン&ミニセラピー(7回) 参加者：88名
講師 西尾薬局 薬剤師 西尾 茂美 氏 他
- カ 「富山県難病相談・支援センターだより」の作成・配布
関係機関及び全国の難病相談・支援センターに配布
- キ 地域支援 講義：2回、ケア会議出席：2回
- ク 患者会支援 総会、交流会、研修会等に協力 23回

④ 若年性認知症相談・支援センター事業(平成28年7月15日開設)

- ア 若年性認知症の人・家族等に対する個別相談、就労支援
 - ・相談支援業務 実人数52名、延人数140名
- イ 支援者のための若年性認知症研修会の開催
 - ・平成28年12月9日(金) 参加者：保健・医療・福祉関係者等 73名
「若年性認知症について」 講師 富山大学附属病院 助教 木戸 幹雄 氏
「若年性認知症の人と家族への支援」
講師 東京都若年性認知症総合支援センター長 駒井 由起子 氏
- ウ 医療・介護・福祉・雇用関係者とのネットワーク会議開催
 - ・平成28年9月2日(金) 出席者：医療・介護・福祉・労働・行政等 45名
報告「富山県若年性認知症相談・支援センターの活動について」
「若年性認知症に関する取組み状況について」

意見交換 助言者 富山大学大学院医学薬学研究部 教授 竹内 登美子 氏
エ 地域支援 講義・講演：4回、ケア会議：1回
オ リーフレット、ポスターの作製・配布

⑤ がん総合相談支援センター事業

ア がん患者・家族等の個別相談

- ・相談総延べ数 1,006件 うち再利用 594件 (59.0%)
(面接相談725件 電話相談 281件)

イ がんピアサポーター養成講座

- ・養成講座7回 受講者：20名 修了者：20名 活動登録者：20名
第1回 平成28年 9月17日 (土) ピアサポーターについて等 参加者：20名
第2回 平成28年10月16日 (日) ピアサポートとは何か等 参加者：20名
第3回 平成28年11月 5日 (土) 子宮がんに関する基礎知識、がんと就労
参加者：18名
第4回 平成28年12月11日 (日) 肺がんの基礎知識、化学療法と看護 参加者：17名
第5回 平成29年 1月22日 (日) 胃・大腸、乳がんに関する基礎知識 参加者：16名
第6回 平成29年 2月16日 (火) がん診療連携拠点病院の見学 参加者：11名
第7回 平成29年 3月 5日 (日) ピアサポーターのコミュニケーション技法等
参加者：20名

ウ がん患者・家族等の交流サロン 毎月第4土曜日 開催12回 参加者延べ168名
ミニ講座6回 毎回ピアサポーター4名が担当

エ がんピアサポート活動支援

- ・ 県内がん診療連携拠点病院でのピアサポート活動
黒部市民病院 5回 富山県立中央病院 6回 富山大学附属病院 3回
厚生連高岡病院 6回 市立砺波総合病院 6回 計26回
- ・ 「がん教育」の講師
小学校、中学校 (3校) にピアサポーター1名ずつ派遣
- ・ がんピアサポーターフォローアップ研修会
第1回 平成28年4月16日 (土) サンシップとやま 参加者：33名
がん総合相談支援センター事業、28年度がんピアサポート活動について
第2回 平成28年7月10日 (日) サンシップとやま 参加者：34名
講義と実技「患者に寄り添うコミュニケーションスキルとは」
～声と言葉による信頼関係の構築～
講師 フリーアナウンサー 山口 容子 氏
第3回 平成28年8月21日 (日) サンシップとやま 参加者：25名
講義と実技「ピアサポートでの傾聴と共感」実際編
講師 高岡市民病院 臨床心理士 高野 利明 氏
第4回 平成28年12月 3日 (土) サンシップとやま 参加者：28名
講義「がんピアサポート活動の実際」～活動の中から見えてくるもの～
グループワーク「がん患者サロン等をとおして感じていること」
講師 滋賀県がん患者団体連絡協議会 会長 菊井 津多子 氏

オ 講演会の開催（患者・家族等）

- ・ 小児がん講演会：平成28年12月10日（日） サンシップとやま 参加者：44名
講演「小児がんの子どもと家族とともに」
講師 社会福祉士 精神保健福祉士 ソーシャルワーカー 樋口 明子 氏
- ・ がんピアサポーターによる相談会
- ・ 小児がん患者・家族の会紹介コーナー

カ がん診療連携拠点病院相談員との連携（情報交換会・研修会）
（情報交換会）

第1回 平成28年 6月 4日（土） 県立中央病院 参加者：30名

第2回 平成28年10月 1日（土） 県立中央病院 参加者：20名

第3回 平成28年12月19日（土） サンシップとやま 参加者：13名

（研修会）

第1回 平成28年 6月 4日（土） 県立中央病院 参加者：30名

テーマ「がん就労者がいきいきと働き続けるために」

講師 社会保険労務士 河 靖子 氏

第2回 平成28年10月 1日（土） 県立中央病院 参加者：20名

テーマ「がん患者さんが使える福祉制度について」

講師 富山市民病院 医療ソーシャルワーカー 八木 智也 氏

キ 情報提供：図書貸出 93冊 ホームページの更新

ク 広報・PR：当センター啓発活動のため、地域等7か所への研修会に講師として参加
・ 新聞等での広報

（2）利用者の福祉サービスの選択

① 介護サービス情報の公表事業の実施

- ・ 指定情報公表センターの運営
「平成28年度情報公表計画」に基づく報告・調査・公表事務
報告受理事業所 1,749件（平成28年10月～平成29年3月）
調査事業所 234件（平成28年11月～平成29年3月）
公表事業所 1,749件（平成28年10月～平成29年3月）
- ・ 新規事業所説明会の開催 2回
第1回 平成28年9月8日（木） サンシップとやま
第2回 平成29年1月24日（火） サンシップとやま
- ・ 公表事業運営委員会の開催
第1回 平成28年11月18日（金） サンシップとやま
第2回 平成29年3月27日（月） サンシップとやま
- ・ 指定調査機関の運営
調査対象事業所への訪問調査実施 64件
- ・ 調査員の登録
登録者29名（平成29年3月末日現在）

(3) 福祉サービスに関する苦情解決のための取り組み強化

① 福祉サービス運営適正化委員会の開催

第1回 平成28年6月9日(木) サンシップとやま

第2回 平成28年10月20日(木) サンシップとやま

② 福祉サービスに関する苦情解決事業の推進

ア 苦情解決部会の開催(年6回)

第1回 平成28年4月21日(木) サンシップとやま

第2回 平成28年6月9日(木) サンシップとやま

第3回 平成28年8月18日(木) サンシップとやま

第4回 平成28年10月20日(木) サンシップとやま

第5回 平成28年12月22日(木) サンシップとやま

第6回 平成29年2月23日(木) サンシップとやま

イ 苦情解決に必要な助言、相談、調査

苦情・相談受付件数：41件

ウ 広報・啓発、調査研究の実施

- ・ 県社協ホームページ、県社協広報誌「福祉とやま」への掲載、ポスター、リーフレット2,000部、福祉事業所等における苦情解決の手引き配布による広報啓発
- ・ 苦情解決体制整備状況アンケートの実施
対象：692法人、回答数：510法人、回答率：73.7%
内容：苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員の設置状況等
- ・ 苦情解決体制整備について巡回訪問指導の実施
対象：福祉サービス事業新規参入法人 23法人、第三者委員未設置法人 11法人

エ 苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員の研修会開催

- ・ 福祉サービス苦情解決研修会の開催
平成28年11月28日(月) 富山県高岡文化ホール 参加者：108名
平成28年11月29日(火) 富山県市町村会館 参加者：110名
講義「苦情解決の意義と目的～利用者本位サービスの実現に向けて～」
講師 日本女子大学人間社会学部社会福祉学科教授 久田 則夫 氏
事例発表「サービス向上に向けたリスクマネジメントの取り組みについて」(高岡)
発表者 社会福祉法人たかおか万葉福祉会
障害者支援施設かたかご苑 生活支援課課長補佐 木本 伸太郎 氏
事例発表「要望を活用したサービス向上」(富山)
発表者 社会福祉法人大山保育会
保育所型認定こども園 上滝保育園園長 杉森 かおり 氏

③ 日常生活自立支援事業の運営監視

ア 運営監視部会による現地調査の実施

平成28年7月22日～8月2日 対象：5市町村社協(入善・黒部・上市・小矢部・砺波)

イ 運営監視部会の開催

平成28年9月21日(水) サンシップとやま

協議事項：実施状況、現地調査結果、現地調査報告

2 福祉サービスの質の向上にむけたサービス提供者への支援

(1) 社会福祉法人等の自立的経営と経営基盤の強化

① 福祉施設経営指導の推進

ア 社会福祉施設経営相談（相談件数 83件）

社会福祉施設経営相談室に専任及び兼任経営相談員の2名、専門経営指導員（公認会計士、社会保険労務士、弁護士）3名を配置し、施設経営に対する指導・助言を実施
専任相談員による県内11社会福祉法人・施設への訪問相談を実施

イ 「施設経営情報」の発行等による情報提供

ウ 福祉施設経営指導事業連絡協議会の開催

（構成者：県厚生部5課、富山市福祉保健部、県経営協役員、経営指導員等）

平成29年3月8日（水） サンシップとやま

協議事項・平成28年度監査の状況について

- ・平成28年度社会福祉施設経営相談事業の状況について
- ・最近の福祉施策の動き等の意見交換

エ 富山県社会福祉法人経営者協議会との連携による会計、労務管理・リスクマネジメント、法律等の研修機会の提供及び集団指導の実施

・労務管理研修会

平成28年11月1日（火） サンシップとやま 参加者：59名

- 講義
- ・社会保険の短時間労働者への適用拡大
 - ・就業規則での解雇理由、懲戒解雇条項と判例について
 - ・その他 労務管理に関するQ&A

講師 梅原 修一 氏（専門経営指導員、社会保険労務士）

・経理事務研修会

平成28年11月25日（金） サンシップとやま 参加者：126名

- 講義
- ・社会福祉法人制度の改革（主に経理関係事項を中心に）
 - ・その他経理事務に関するQ&A

講師 中村 厚 氏（専門経営指導員、公認会計士・税理士）

・社会福祉法人特別セミナー

平成28年12月14日（水） サンシップとやま 参加者：33名

- 講義
- ・社会福祉や介護のあり方について法律家として思うこと
～認知症がある方のJR事故訴訟をとおして～
 - ・その他法律問題に関するQ&A

講師 大坪 健氏（専門経営指導員、弁護士）

- 講義
- ・社会福祉法人の地域貢献と地域福祉の推進
～滋賀の縁（えにし）創造実践センターの取り組みから～

講師 同志社大学社会学部 教授 上野谷 加代子 氏

- 講義
- ・富山県内の社会福祉法人の経営課題と地域貢献のある方を考える

講師 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

(2) 福祉サービス第三者評価事業の実施

① 地域密着型サービスにかかる外部評価の実施

認知症対応型共同生活介護事業所 25件

② 福祉サービスにかかる第三者評価の実施

社会的養護施設 3件

児童福祉施設（保育所） 5件

③ 福祉サービス評価事業運営委員会の開催

第1回 平成28年5月23日（月） 富山県教育文化会館

第2回 平成28年7月19日（火） 富山県教育文化会館

第3回 平成28年10月7日（金） サンシップとやま

第4回 平成28年11月18日（金） サンシップとやま

第5回 平成28年12月19日（月） 富山県教育文化会館

第6回 平成29年1月27日（金） サンシップとやま

第7回 平成29年2月20日（月） 富山県教育文化会館

第8回 平成29年3月27日（月） 富山県教育文化会館

④ 評価調査者の登録

登録者 24名（平成29年3月末日現在）

⑤ 評価調査者研修会の開催

平成29年3月9日（木） サンシップとやま 参加者：16名

講演「第三者評価の有効活用」

講師 一般社団法人 全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会
会長 新津 ふみ子 氏

(3) 富山県福祉施設支援資金の貸付

貸付審査会の開催(2回)

貸付件数：6件

貸付額：72,000千円(平成28年度末貸付実績 36件、229,310千円)

3 要介護者・要支援者の自立に向けた福祉用具の活用・普及

(1) 効果的な福祉用具の活用

① 福祉用具及びモデルルームの展示・充実

展示品：771種類、来所者数：1,075名

② 福祉用具に関するイベント・研修会等の開催

ア 福祉用具活用講座Ⅰ（一般県民対象） 参加者：289名（19回）

イ 福祉用具活用講座Ⅱ（福祉関係者対象） 参加者：672名（33回）

ウ 小・中・高生の介護講座 参加者：1,671名（39回）

エ らくらく介護講座（福祉関係者対象） 参加者：226名（6回）

オ 介護技術向上研修（排泄編・排泄技術編） 参加者：72名

カ 第8回福祉用具の展示会 平成28年10月29日（土） サンシップとやま
出展メーカー：35社 来場者：294名

③ 介護実習・普及センター事業の広報

④ 富山県福祉機器開発推進会議との連携

福祉用具・アイデアコンクールの開催 応募作品数：198点 受賞作品数：29点
表彰式 平成28年10月18日（火） サンシップとやま 参加者：86名

⑤ 腰痛予防対策推進事業

ア 腰痛予防研修会

介護職員の腰痛予防のために必要な知識・技術を習得し、職場での腰痛予防対策を推進するための研修を実施

- ・第1回 平成28年6月10日（金）、11日（土） サンシップとやま 参加者：36名
- ・第2回 平成28年7月1日（金）、2日（土） サンシップとやま 参加者：39名

イ 腰痛予防フォローアップ研修会

腰痛予防研修修了者のスキルアップを図るための研修を実施
平成28年7月1日（金） サンシップとやま 参加者：25名

ウ リフトリーダー養成研修会

介護職員の腰痛予防と利用者の安全な移乗のために、リフトを使用した介助方法を指導できる人材を養成するための研修を実施
平成28年11月14日（月）、16日（水） サンシップとやま 参加者：31名

エ 腰痛予防指導者育成研修会

福祉施設において、介護職員の腰痛予防対策が推進できるように、指導者を育成するための研修を実施

- ・基礎研修：施設利用者個々に対応できる介助技術と職員への指導方法の習得
＜Aコース＞平成28年7月4日（月）、25日（月）8月1日（月）、29日（月）
サンシップとやま 受講者：18名
＜Bコース＞平成28年7月11日（月）21日（木）、8月4日（木）、18日（木）
サンシップとやま 受講者：19名
- ・フォローアップ研修：基礎研修修了者の施設に出向き、受講者の指導力を高める
特別養護老人ホームだいご苑：平成28年9月28日（水）、10月26日（水）、11月30日（水）
特別養護老人ホームささづ苑：平成28年9月14日（水）、10月21日（金）、11月24日（木）
特別養護老人ホームあんの里：平成28年9月27日（火）、10月31日（月）、11月21日（月）
受講者：36名 参加者：延101名

オ 腰痛予防取組み事例報告会

腰痛予防の取組みに関して、事例報告会や意見交換会を開催することで、他施設への腰痛予防対策の普及・定着を図るために実施

平成28年10月29日（土） サンシップとやま 参加者：85名

- ・特別講演「特別養護老人ホーム向日葵における介護職員の腰痛予防の取組み」
講師 社会福祉法人玉美福祉会
訪問看護ステーション向日葵 理学療法士 宮本 仁志 氏
特別養護老人ホーム向日葵 介護福祉士 高野 大介 氏

- ・シンポジウム「特別養護老人ホームでの腰痛対策の取組み」
 コーディネーター 金城大学医療健康学部 教授 木林 勉 氏
 シンポジスト 特別養護老人ホームほのぼの苑 介護福祉士 名内 博美 氏
 特別養護老人ホームソレイユ 介護福祉士 新井 登志子 氏

カ 腰痛予防対策モデル福祉施設の指定

指定施設 : (新規) 特別養護老人ホームあんどの里 (魚津市)
 特別養護老人ホームだいご苑 (高岡市)
 (継続) 特別養護老人ホーム越野荘 (黒部市)
 特別養護老人ホームほのぼの苑 (氷見市)
 特別養護老人ホームソレイユ (富山市)
 特別養護老人ホーム福寿園 (南砺市)
 特別養護老人ホームきらら (南砺市)
 特別養護老人ホームささづ苑 (富山市)

キ 腰痛予防対策介護研修

特別養護老人ホームきらら : 参加者 5名 (3施設)
 特別養護老人ホームささづ苑 : 参加者 6名 (5施設)
 特別養護老人ホームソレイユ : 参加者 2名 (2施設)
 特別養護老人ホーム福寿園 : 参加者 1名 (1施設)
 特別養護老人ホーム越野荘 : 参加者 3名 (2施設)
 特別養護老人ホームほのぼの苑 : 参加者 5名 (3施設)
 特別養護老人ホームあんどの里 : 参加者 2名 (2施設)
 特別養護老人ホームだいご苑 : 参加者 2名 (2施設)

(2) 福祉用具・住宅改修相談の利用促進

① 福祉用具・住宅改修活用広域支援事業

ア 福祉用具・住宅改修支援連絡協議会の開催

平成29年3月17日 (金) サンシップとやま 出席者: 12名

イ 専門相談員の登録 (相談員の発掘と資質向上)

登録者10名

ウ 福祉用具・住宅改修の相談・充実

所内相談・出張相談総数: 78件 (延べ90件)

エ 福祉用具・住宅改修に関わる関係者の資質の向上 (研修等の実施)

・福祉用具・住宅改修研修 (基礎研修)

福祉用具・住宅改修に関する基礎知識の習得を目的として実施

<第1回>平成28年5月18日 (水)、25日 (水)、27日 (金)

サンシップとやま 受講者: 31名

<第2回>平成28年6月8日 (水)、15日 (水)、23日 (木)

サンシップとやま 受講者: 25名

・福祉用具・住宅改修研修 (福祉用具研修)

利用者に適した福祉用具の選定や活用方法の習得を目的として実施

平成28年8月19日 (金)、9月9日 (金)、16日 (金) サンシップとやま

受講者：21名（延べ84名）

・住宅改修事業者研修（基礎編）

住宅改修事業者を対象に福祉用具や住宅改修に関する知識の習得を目的として実施

＜第1回＞平成28年8月24日（水）サンシップとやま 受講者：24名

＜第2回＞平成28年9月7日（水）サンシップとやま 受講者：21名

・住宅改修事業者研修（応用編）

住宅改修事業者を対象に、事例による住宅改修プランニングの演習を行う

平成28年9月23日（金）サンシップとやま 受講者：22名

オ 福祉用具・住宅改修活用広域支援事業の広報（関係機関及び関係者）

・福祉用具・住宅改修出張相談事例集の作成・配布

・パンフレットの作成・配布

② 福祉用具等に関する相談・支援の充実

③ 福祉用具等に関する情報の提供（ホームページの充実・情報誌等への掲載）

④ 福祉用具・住宅改修の専門職及び関係機関との連携強化

4 地域における福祉施設・団体等との協働

（1）福祉関係団体とのネットワーク構築

① 富山県社会福祉推進関係者新年度交歓の集い

県内福祉関係者が一堂に会し、意見交換など親しく交流する機会を提供することにより、新年度における社会福祉事業の円滑な推進と連携に資した。

平成28年4月28日（木） 富山県民会館

参加者：90名（行政・社会福祉協議会・福祉関係団体）

② 社会福祉施設・団体正副会長連絡会議

県段階の福祉関係団体の正副会長及び理事を対象とし、社会福祉を取り巻く情勢等に関する会議を開催

平成28年11月24日（木） パレブラン高志会館

テーマⅠ「福祉人材の確保・定着・育成の取り組みについて」

Ⅱ「社会福祉法人制度改革における取り組みについて」

Ⅲ「福祉のまちづくり活動の推進について」

参加者：14団体、15名

（2）各種福祉団体への支援・協力

① 各種福祉団体の事務局受託（5団体）

富山県保育連絡協議会、富山県老人福祉施設協議会、富山県デイサービスセンター協議会、富山地域包括・在宅介護支援センター協議会、富山県ホームヘルパー協議会への支援

② 福祉団体活動等への支援 「保育所長専門講座」受講助成事業

- ③ 在宅心身障害児通園訓練事業への助成
- ④ 県母子寡婦福祉連合会、県母親クラブ連合会等への助成
- ⑤ 各種大会等への助成

第4 福祉の担い手確保と資質向上

今後、ますます複雑化・多様化する福祉ニーズに応え、利用者本位のサービスの実現を進めるためには、福祉サービスを提供する人材の質と量の両面からの安定的確保と、福祉人材の確保と定着への支援が重要となってきます。

このため、福祉・介護の現場で直接支援を行う職員や看護師、保育士等の人材不足の状況が続く中、様々な求職者ニーズや特性を活かした効率・効果的なマッチングを進めるとともに、小学校等の子どもの時からの福祉・介護の仕事への理解の促進や、指導的役割を担う中堅職員の紹介などイメージの向上について取り組みました。

また、福祉関係諸団体と連携・協力を図りながら、サービス利用者の権利擁護の視点を持つ専門的知識・技術の高い福祉人材の育成や福祉職場における研修体系の構築への支援を行いました。

1 福祉人材確保・定着の推進

(1) 福祉の人材確保・マッチング支援の強化と人材定着を支援する取り組みの推進

① 福祉人材無料職業紹介事業の充実（保育分を含む全体数）

ア 全社協・中央福祉人材センターとともに運営・管理を行う「福祉人材情報システム」（COOLシステム）及びホームページ「福祉のお仕事」を活用した求人・求職登録の促進と福祉の職場・資格、労働市場の動向等に関する情報の提供（保育分野を含む）

- ・相談件数3,485件（前年度4,800件）、内訳：求人1,612件、求職1,873件
- ・登録求人件数2,652件（前年度2,470件）、登録求人数5,358人（前年度4,927人）
- ・登録求職者数1,143人（前年度1,369人）、内訳：一般630人、学生513人
- ・職場見学者数240人（前年度271人）、職場体験者数26人（前年度30人）
- ・紹介者数237人（前年度314人）
- ・採用者数198人（前年度265人）、内訳：一般95人、学生103人

イ 職業訓練受講者へ求職登録の働きかけ

- ・142名、内訳：初任者研修8回 87名、実務者研修1回 40名、介護入門1回 15名

ウ 既存の広報媒体を利用した啓発・案内

- ・福祉とやまによる事業内容や行事等の記事の掲載（6回）
- ・県社協及び「福祉のお仕事」ホームページによる事業所一覧、行事等の情報を掲載
- ・COOLシステム 求職者マイページによる行事等の案内をメール配信
- ・市町村広報誌への掲載 ハローワーク出張相談予定（高岡市、入善町、南砺市）

② 啓発・広報活動の強化

利用促進用リーフレットの作成 5,000部、求職者・学生、ハローワーク等で配付

③ 社会福祉事業従事希望者講習会事業

福祉の仕事を目指す求職者や事業所職員等を対象に福祉の仕事セミナーを開催し、社会福祉の動向や福祉の仕事について理解を深める機会を提供

- ・福祉の仕事セミナー～見て！聞いて！福祉の現場の魅力！～
- ・平成28年12月22日（木）、サンシップとやま、参加者：16名
- ・講演「いっしょに働きましょう。これが福祉の魅力！」

講師 小規模多機能型在宅介護、認知症対応型共同生活介護事業所

愛寿乃里（小矢部市） 施設長 岩田 美保子 氏

・事業所紹介

事業所管理者及び若手職員（介護のがんばりすと2016）、3事業所から各2名

・グループワーク「あなたの未来を創る、福祉の仕事！」

～福祉施設の職員に現状と将来のビジョンを聞く～

アドバイザー

事業所管理者及び若手職員（介護のがんばりすと2016）、3事業所から各2名

④ 福祉人材確保緊急プロジェクトの推進

ア 福祉職場説明会の開催（5回）

求人事業所と求職者が一堂に会し、様々な施設の経営状況・仕事内容・待遇等を直接確認できる機会の提供

・平成28年度福祉人材採用力向上セミナー

平成28年6月17日（金）サンシップとやま 79名

「福祉人材の確保・定着のための採用術 ～法人・事業所の『らしさ（魅力）』、伝わっていますか？」

講師 らしさ研究所代表 門野 友彦 氏

・第1回【福祉・介護】

平成28年7月23日（土）富山国際会議場 参加者：163名 参加法人：59

我が事業所紹介 同会場 参加者：114名 紹介事業所：6

事業所の魅力や独自の取り組みなどを紹介

・第2回【福祉・介護】

平成28年7月24日（日）富山国際会議場 参加者：114名 参加法人：67

我が事業所紹介 同会場 参加者：56名 紹介事業所：6

事業所の魅力や独自の取り組みなどを紹介

・第3回 平成28年11月9日（水）砺波農村環境改善センター 22名、参加法人14

・第4回 平成28年11月10日（木）新川文化ホール 19名、参加法人10

・第5回 平成29年3月14日（火）砺波農村環境改善センター 14名、参加法人15

※第3～5回はハローワーク砺波、魚津との合同開催

イ 新任介護職員ネットワーク形成支援事業

離職率が高い就業後 1～3 年未満の新任介護職員を継続的にフォローすることにより、新任職員の早期離職防止・職場定着を図った。

i) 元気とやま 福祉・介護職員合同入職式2016

平成28年4月18日（月）高志会館

出席者 147名（内訳：入職者114名、県福祉人材確保対策会議委員14名、前年度の介護のがんばりすと19名）

内容 激励のことば（県知事）、歓迎メッセージ、“初心”表明、講演「人に役立つ『ないもの』になろう」

－福祉・介護の専門職として私たちがめざすもの－

講師 県介護福祉士会 副会長 舟田 伸司 氏

交流会～新しい職場になじむコツ 指導 経田 博子氏

ii) 介護職員フォローアップ研修

- ・介護技術編（腰痛予防）5～6月、4会場、各1回、参加者合計77名
講師 県介護福祉士会 副会長 舟田 伸司 氏
- ・セルフケア編（メンタルヘルス）7～8月、4会場、各1回、参加者合計49名
講師 臨床心理士 坂本 美奈子 氏

ウ 福祉・介護人材マッチング強化事業

キャリア支援専門員による相談体制と仲介業務の強化

- ・ 同専門員を2名配置（介護福祉士、社会福祉士）
- ・ 「福祉の仕事 相談コーナー」の開設（月1～2回）
ハローワーク6カ所合計102回、相談合計169件（前年度255件）
（内訳：高岡51、魚津44、砺波38、氷見8、滑川24、小矢部4）
- ・ 「介護の仕事 就職支援セミナー」の実施（ハローワーク魚津・砺波と共催）
魚津会場 12回、123名
砺波会場 12回、70名 計193名
- ・ 福祉就労オリエンテーションの実施
福祉職場の未経験者を対象に、少人数制のグループワーキングの実施
4月～3月の第4木曜日、12回、サンシップとやま、参加者合計73名
講義「福祉の職場とは、求められる人材とは」
講師 小規模多機能型在宅介護、認知症対応型共同生活介護事業所
愛寿乃里（小矢部市） 施設長 岩田 美保子 氏
- ・ 求人・求職者情報の提供
登録求職者向けに求人情報紙を毎月送付（12回合計1,255部発行）
Eメール、ホームページを利用した事業所向けのスカウトサービス（保育以外）
申請207件、指名のべ人数4人、見学30人、面接7人、採用5人
- ・ 事業所訪問5か所（認知症対応型生活介護 他）

⑤ 調査研究事業

ア 県内民間社会福祉事業所の人材不足の現状等を把握し、人材需給に対処する基礎資料とするアンケート調査の実施

9月、1,571事業所対象、回答1,125か所、回答率71.6%

内容：職員数、保有資格数、入植者数、離職者数、離職理由、必要人数、必要理由、職場環境、キャリアアップ、人材確保の問題点と要望など、報告書800部作成

※ 集計・分析結果をふまえ、県福祉人材確保対策会議、同ワーキンググループに報告

イ 富山県出身学生在学者調査を実施し、回答のあった大学等の学生に求人情報を提供
調査対象：東海・北陸・新潟県ほか合計178校、在学者151人、登録者58人

ウ 富山県内学生調査

調査対象：県内養成8校、登録者412人

⑥ 働きやすい職場づくりのための取り組みの推進

ア 独立行政法人福祉医療機構退職手当共済事業の事務受託

イ 福利厚生センター（ソウェルクラブ）受託事業の実施

会員交流事業の実施（16企画）、企画情報会議の開催（2回）、加入勸奨活動（1法人）、
その他会員情報サービスの提供

（2）就労支援ネットワークづくり

① 人材確保相談事業

他機関の実施する職場説明会において、福祉職場・資格取得等に関する相談に応じた
ほか、養成施設・事業所等への訪問・相談等の実施

説明会：5回（富山市） 相談件数：9件

就職支援セミナー（ハローワーク富山）2回

訪問15か所、内訳：事業所5、職業訓練10

② 福祉人材確保緊急プロジェクトによる取り組み

福祉人材確保対策会議の開催

福祉・労働関係の機関・団体と連携して現状の分析を行うとともに、より効果的
な方策を協議

ア 会議（2回）

- ・第1回 平成28年6月2日（木）、高志会館、参加委員：21名

協議「会長及び副会長の選任について」

「福祉人材確保の取り組み等について」

「民間福祉・介護事業所の人材確保に関する調査について」

- ・第2回 平成29年1月23日（月）、県民会館、参加委員：20名

協議「福祉人材確保に向けた効果的・具体的な取り組みについて」

イ ワーキンググループ（2回）

- ・第1回 平成28年6月28日（火）、高志会館、参加委員：25名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「民間福祉・介護事業所の人材確保に関する調査について」

「構成団体・市町村の今年度の取り組みについて」

- ・第2回 平成29年1月11日（水）、高志会館、参加委員：26名

協議「福祉人材確保の取り組み等について」

「民間福祉・介護事業所の人材確保に関する調査の中間報告について」

「構成団体・市町村による取り組みについて」

③ 介護福祉士等修学資金貸付事業

介護福祉士等養成施設に在学する学生を修学資金の貸付けにより支援し、また、
介護業務に再就職する人を離職介護人材再就職準備金の貸付けにより支援

ア 介護福祉士または社会福祉士養成施設など入学者（従来枠）及び介護福祉士実務
者養成施設の在学者（実務者研修枠）

i) 募集 養成施設に募集要項の送付

ii) 審査会 平成28年6月8日（水）、サンシップとやま、参加委員：4名

iii) 貸付実績

（従来枠）

修学費 50,000円以内/月、入学準備金 200,000円、

就職準備金200,000円、生活費加算（個別金額）、
介護福祉士国家試験受験対策費40,000円/年
（実務者研修枠）200,000円以内

申請：従来枠24名、実務者研修枠4名

決定：従来枠20名、実務者研修枠4名

貸付：従来枠20名、実務者研修枠4名

合計貸付人数：従来枠44名、実務者研修枠4名

（継続：従来枠24名、新規：従来枠20名、実務者研修枠4名）

貸付人数累計（平成21年度～平成28年度）

従来枠191名、実務者研修枠8名

イ 介護業務に再就職する者

i) 募集 求職登録者、介護事業所に案内チラシ等を送付

ii) 貸付実績

金額：200,000円以内

申請、決定、貸付：18名

④ 保育補助者雇上貸付・潜在保育士再就職支援事業

ア 保育補助者雇上事業、未就学児をもつ潜在保育士に対する保育所復帰支援事業、
潜在保育士の再就職支援事業

i) 募集 求職登録者、介護事業所に案内チラシ等を送付

ii) 貸付実績

・保育補助者雇上費貸与

金額：年額2,953,000円以内

申請、決定、貸付：1法人

・未就学児をもつ保育士に対する保育料の一部貸与

金額：保育料の半額（月額27,000円以内）

申請、決定、貸付：1名

・潜在保育士就職準備金貸与

金額：200,000円以内

申請、決定、貸付：8名

⑤ 児童養護施設退所者等貸付事業

就職者等への家賃貸付、進学者への家賃・生活費貸付、資格取得希望者への資格
取得貸付

i) 募集 児童養護施設等に案内チラシ等を送付

ii) 貸付実績 無し

(3) 福祉・介護職場のイメージアップ

① 福祉人材確保緊急プロジェクトによる取り組み

ア 高校生等の福祉の魅力体験バスツアー

高校生、進路指導担当教員に対し、職場体験を通じて福祉職場の魅力ややりが
いを理解し、進路の選択に生かしていく機会を提供

- ・高岡会場 平成28年7月26日（火）、高岡市周辺の特養6か所 66名
内容 施設見学、仕事体験、職員の話、利用者との交流等
- ・富山会場 平成28年7月27日（水）、富山市周辺の特養6か所 32名
内容 高岡会場に同じ
- ・参加者進路調査 3年生23名中 福祉分野進学14名、福祉分野就職9名

イ 親子夏休み福祉の仕事バスツアー

小学生とその保護者を対象に、福祉施設での仕事の体験を通じて、施設や利用者を身近な存在としてとらえ、働く人や仕事について理解を深める機会を提供

- ・上市会場 平成28年8月3日（水）、特養1か所・老健1か所 28名
内容 施設見学、福祉用具、利用者の誘導、体操、おやつ作り、働く人の話等
- ・高岡会場 平成28年8月4日（木）、特養1か所 24名
内容 同上

ウ がんばる介護職員応援事業

i) がんばる介護職員の表彰（通称：介護のがんばりすと2016）

福祉・介護の現場で元気にがんばっている職員を掘り起こして、表彰・紹介することにより、職員のモチベーションの向上と、介護の仕事に対するマイナスイメージの払拭、社会的評価の向上を推進

- ・対象 勤続5年以上10年未満、新人の指導役、介護福祉士、所定の研修修了者
- ・推薦 608法人、1,387か所へ依頼、26法人から28名あり
- ・選考委員会 平成28年8月23日（火） サンシップとやま 参加委員：5名
- ・表彰式 平成28年10月16日（日） グランドプラザ

「介護の日フェスティバル」内

- ・交流研修会 平成28年10月16日（日） ファーストバンク・キラリホール 27名
交流テーマ「アドラー心理学から学ぶ勇気づけの大切さ」
指導 臨床心理士 坂本 美奈子 氏

ii) 経験談を新聞紙面に掲載

期日 平成28年10月14日（金）、北日本2頁、読売・富山全5段

内容 介護のがんばりすと2016の手記、介護の日のイベント案内

iii) イメージアップ・テレビCMの制作

ホームヘルパーの日編(8/10) 平成28年8月、5日間、民放3局、15秒、165本

介護フェス編(10/16) 平成28年10月、5日間、民放3局、15秒、165本

iv) 学生や若手職員へのPR活動支援（介護のがんばりすと2015・2016）

テレビCM出演、高校生との交流、他分野からの転職者への助言、
合同入職式でのメッセージ、同交流会での相談対応 等

オ 介護の日の啓発活動

介護を身近なものとしてとらえ、それぞれの立場で考えていくため、関係機関・団体等が連携して開催するイベント「介護の日フェスティバル」の実施に協力

- ・実行委員会への参加 7回（構成：事業所団体、職能団体、養成校、行政など）
- ・イベントへの参加 平成28年10月16日（日） グランドプラザ
「福祉のお仕事」相談コーナー開設 相談3件

② 教員免許法の特例に基づく「介護等体験」支援事業

17大学227人の学生が希望し、93施設において介護等を体験

(4) 保育士・保育所支援センター開設事業

共働き世帯の増加や育児休暇の定着により、人手のかかる0～2歳児の途中入所が増え、保育所の求人ニーズが高まっているため、有資格者の未就業者の職場復帰、現役保育士の職場の定着を支援するためのセンターを開設し、相談や就職あっせん等の実施

① センターの運営と啓発

ア 専門相談員の配置

再就職支援コーディネーター1名（保育士）

イ 啓発

- ・業務案内リーフレットの作成 3,000部（保育所、ハローワーク等に送付）
- ・ポスターの作成700部（子育て支援センター、小児科医院、大規模店舗、コンビニエンスストア等に送付）

② 相談業務と就職あっせん

- ・求職相談件数1,029件

内訳：現役137、潜在706、学生38、栄養士・調理士19、看護師14、無資格者等115

- ・求人相談件数1,079件

内訳：求人208、採用活動322、応募者163、雇用条件241、職場説明会77、スカウト19、広報協力19、制度15、保護者対応5、職場環境・施設管理等4、研修会3、職員育成3

- ・事業所登録数 96か所、内訳：市町村11、民間85
- ・登録求人件数 533件、登録求人数1,153人
- ・登録求職者数 366人、内訳：現役24人、潜在77人、学生249人、無資格者8人、幼稚園教諭のみ3人、看護師1人、栄養士1人、調理師3人
- ・スカウトサービス：申請16件、対象者数35人、見学1人
- ・職場見学者数 85人、職場体験者数5人（うち採用3人）
- ・採用者数101人、内訳：現役4人、潜在41人、学生52人、無資格者3、調理師1

③ 再就職支援研修会（2回）

（第1回）

平成28年11月11日（金） サンシップとやま 19名

講演「保育士のやりがい～優しさに包まれて～」

講師 魚津保育園 園長 村西 真理子 氏

講義①「キラーストレス対処法」

講師 臨床心理士 坂本 美奈子 氏

講義②「疑問スッキリ解消！入社時の注意点と入社後の有給休暇について」

講師 社会保険労務士 梅原 修一 氏

講義③「発達や行動に気がかりがある子どもを応援するには」

講師 北海道教育大学 教授 阿部 美穂子 氏

(第2回)

平成28年11月8日(火)・9日(水) 富山県市町村会館 理事長・園長57名
講義「保育所(園)等における雇用管理と人材育成・定着セミナー」

講師 ワールドワイド 代表取締役 池田 東史雄 氏

④ 職場説明会

平成28年8月6日(土) 富山国際会議場 参加者：126名 参加法人：42

我が事業所紹介 同会場 参加者：104名 紹介事業所：6

事業所の魅力や独自の取り組みなどを紹介 5か所

保育の出前 1か所

(5) 委員会等の開催

運営委員会 (1回)

2 福祉人材の育成

(1) 委員会等の開催

- ① 福祉カレッジ運営委員会 (1回)
- ② 研修カリキュラム検討分科会 (1回)
- ③ 介護機器普及事業運営分科会 (1回)

(2) 福祉カレッジ研修事業の実施

福祉人材の養成及び資質の向上を図るための研修を実施

(51コース、受講者実人員9,387名)

① ソーシャルワーク研修

専門多職種連携とソーシャルワーク実践研修、地域巡回研修(氷見市・朝日町)、相談援助技術研修、子育て支援研修

② ケアワーク研修

福祉用具体験講座Ⅱ(専門職・学生)、らくらく介護講座、介護技術向上研修(住宅改修事業者、排泄編、排泄技術編)、腰痛予防推進研修(腰痛予防研修・リフトリーダー養成研修)、腰痛予防指導者育成研修(基礎研修・フォローアップ研修)、腰痛予防対策取り組み事例報告会、腰痛予防対策介護研修、富山型デイサービス職員研修、施設訪問中堅リーダー養成研修、介護職員リスクマネジメント研修、認知症ケア研修、介護職員のためのターミナルケア研修、観察の視点を活かした介護職員記録研修

③ 法人施設経営研修

社会福祉法人特別セミナー、福祉職員キャリアパス対応生涯研修(新任職員、中堅職員、チームリーダー、管理職員)、中堅職員(主任保育士等)研修

④ 目的課題別研修

福祉用具体験講座Ⅰ(一般県民)、小・中・高生の介護講座、福祉用具・住宅改修研修(基

礎研修、福祉用具研修)、福祉用具プランナー研修、乳幼児(0,1,2歳児)保育研修、障害児保育研修、職場研修担当者研修、職場研修ステップアップ研修、福祉職員コミュニケーション研修(新任職員編、中堅・指導的職員編)、新任職員接遇研修、福祉職員アクティブ・ワーキング研修(一般職員編、指導職員編)、ホームヘルパー技術向上研修、サービス提供責任者研修、介護支援専門員更新B・再研修、介護支援専門員実務研修、障害者(児)ホームヘルパー等養成研修、強度行動障害支援者養成研修(基礎研修・実践研修)、福祉サービス第三者評価評価調査者養成・継続研修、富山型デイサービス起業家育成講座、民生委員・児童委員会長研修、民生委員・児童委員研修、民生委員・児童委員課題別研修、新任民生委員・児童委員研修、主任児童委員研修、児童委員研修、ハートフル保育普及研修会

(3) 介護支援専門員実務研修受講試験事業

① 試験実施機関の指定

平成28年2月5日(期間:平成28年度~30年度)

県から試験実施機関の指定を受け、同試験の申請受付及び試験事務を実施

② 実施結果

試験実施日:平成28年10月2日(日)

試験会場:サンシップとやま、ゴルフアートとやま、富山県民会館

受験者数及び合格者数:受験者数1,061名、合格者数154名(合格率14.5%)

第5 県社協の活動基盤の強化

県域における地域福祉を総合的に推進する唯一の専門組織として、県民の期待に応える地域福祉活動を展開するため、県社協活動基盤の強化に努めました。

1 経営・財政基盤の強化

(1) 適正な業務執行体制の確立

- | | | |
|---------------|----------------------|--|
| ① 理事会 | 平成28年4月11日 | (文書審議) 評議員の委嘱 |
| | 平成28年5月26日 | 27年度事業報告・決算、28年度補正予算 他 |
| | 平成28年6月20日 | (文書審議) 評議員の委嘱 |
| | 平成28年12月22日 | 定款変更、役員選出規程制定、評議員選任・解任委員会
運営細則制定、評議員選任・解任委員の選任、新評議員
候補者の推薦 他 |
| | 平成29年3月23日 | 2次補正予算、第4次活動推進計画策定、29年度事業計画・
予算、理事会・評議員会運営規則制定、経理規程の一部改正
就業規則の一部改正 他 |
| 平成29年3月29日 | (文書審議) 評議員選任・解任委員の選任 | |
| ② 評議員会 | 平成28年4月11日 | (文書審議) 理事及び監事の選任 |
| | 平成28年5月26日 | 27年度事業報告・決算、28年度補正予算 他 |
| | 平成28年12月22日 | 定款変更、役員選出規程制定 |
| | 平成29年3月23日 | 2次補正予算、第4次活動推進計画策定、29年度事業計画・
予算、理事の選任 |
| 平成29年3月24日 | (文書審議) 監事の選任 | |
| ③ 監事会 | 平成28年5月17日 | 平成27年度業務執行状況及び財産状況の監査 |
| ④ 評議員選任・解任委員会 | 平成29年2月15日 | 改正社会福祉法施行に伴う新評議員の選任 |

(2) 会員・会費制度の充実

① 未加入施設・事業所、賛助会員の加入促進

平成29年3月末現在会員状況

正会員：1,143施設・団体 賛助会員：148団体・個人

(3) 自主財源の確保

① 研修受講料の徴収

② 図書斡旋による手数料収入の確保

(4) 基金事業の充実

基金運営委員会の開催 平成29年3月9日(木) サンシップとやま

報告事項 基金の積立・運用及び収益金の状況について

審議事項 ・平成29年度の基金収益金の配分案について

・基金原資の効果的活用について

2 活動の強化

(1) 第4次県社協活動推進計画の策定

県内福祉関係機関・団体（者）から選出した20名の委員で構成する活動推進計画策定委員会ならびに、策定委員会に属する諸課題について専門的な審議を行うため、策定委員会委員及び部会のみ委員を含めた2部会を設置し、協議を行った。

① 活動推進計画策定委員会の開催

第1回	平成28年7月19日（火）	富山県民会館	出席委員18名
第2回	平成29年2月8日（木）	サンシップとやま	出席委員17名
第3回	平成29年3月6日（月）	富山県民会館	出席委員15名

② 活動推進計画策定委員会部会の開催

ア 福祉のまちづくり部会

第1回	平成28年10月7日（金）	サンシップとやま	出席委員11名
第2回	平成28年11月25日（金）	サンシップとやま	出席委員9名

イ 福祉を担うひとづくり部会

第1回	平成28年9月23日（金）	サンシップとやま	出席委員9名
第2回	平成28年11月21日（月）	富山県民会館	出席委員9名

(2) 情報収集・発信機能の強化

① 県社協ホームページ活用事業

情報発信の仕組みとして安定的に運用され、より閲覧しやすく情報を得やすいウェブサイトとなるよう、ページの改訂等を随時行った。

② 広報誌「福祉とやま」の発行及び県社協ホームページによる福祉情報等の提供

- ・ 広報誌「福祉とやま」（奇数月に各12,000部発行）
- ・ 県社協ホームページ（随時更新）

(3) 提言機能の強化

① 第65回富山県社会福祉大会の開催

県内福祉関係者が一堂に集まり、地域福祉活動の一層の充実・拡大に向けた大会宣言や大会決議の採択を行ったほか、福祉の発展に功績のある方への表彰ならびに記念講演を行った。

平成28年10月27日（木） 富山県民会館

記念講演「素敵に年を重ねるために心と身体の健康を考える」

講師 日本医科大学特任教授／診療内科医／産業医 海原 純子 氏

② 県福祉関係施策及び平成29年度予算に対する要望活動

平成28年11月17日 県・関係方面へ要望書提出

(4) 社協活動推進に向けた市町村社協との協議

① 市町村社協会長会議の開催

平成28年6月30日（木） 高志会館

情勢報告・意見交換会

② 市町村社協専務・常務理事、事務局長会議の開催

平成29年2月28日（火） サンシップとやま
情勢報告・次年度事業説明等

3 組織体制の強化

（1）事務局体制の充実・強化

① 職員の資質向上

社協職員として必要な知識・技術の習得を図るため、外部研修へ参加

- ・ 都道府県・指定都市社協中堅職員研修会（2名）
- ・ 都道府県・指定都市社協管理職員研修会（2名）、
- ・ 社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座受講（1名）

（2）指定管理者としての富山県総合福祉会館（サンシップとやま）の機能強化

- ① 施設の指定管理業務を富山県から受託
- ② 指定管理期間（第3期 4年目）：平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年間）
- ③ 施設の利用状況
 - ・ 研修室等利用率 41.79%（前年比 +0.35%）
 - ・ 利用料収入 32,690千円（前年比 Δ0.98%）
 - ・ 減免団体利用率 84.84%（前年比 +4.19%）

平成28年度事業報告附属明細書

平成28年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。